

教育研究業績書

2020年10月27日

所属：幼児教育学科

資格：講師

氏名：久米 裕紀子

研究分野	研究内容のキーワード
幼児教育学、保育学	保育指導法 幼児教育カリキュラム 保育実践研究 保育者論
学位	最終学歴
短期大学士（保育学） 修士学位（教育学）	武庫川女子大学大学院 文学研究科 教育学専攻

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要

1 教育方法の実践例		
1. 保育者としての専門性を養う	28年4月～現在	保育現場で求められる保育者の資質や専門性について学びレポートでまとめ、意見を交流する。幼稚園の生活や保育者の役割についてパワーポイントを使い、保育現場の写真・映像を通して講義を行い、子どもの年齢に合わせた実技を含めながら保育＝遊びの展開、保育者の専門性に迫り、保育者を目指し、一人の人としても向上していく意欲を高められるような授業となるよう取り組んでいる。
2. 保育現場での学びを確かにする	28年4月～現在	教育実習への心得をはじめ、現場で実際にいろいろなことを感じ、見て、行動できるように精神面での指導を行いながら、観察記録の書き方、保育指導案の立て方など、具体的に分かりやすく伝えていくよう努めている。実際の部分実習など個人的にも対応している。学生がどこに迷い、困っているのかを探りながら、自分の計画している保育の全体的イメージを感じ、保育指導案の細やかな立て方など、具体的に分かりやすく伝えていくよう努めている。自分の部分保育のイメージ、その保育でのねらいが明確に意識できるよう指導している。
3. 附属幼稚園・市立幼稚園との連携に基づいた実践演習「保育・教職実践演習」	28年4月～現在	大学「保育・教職実践演習」において、附属幼稚園・市立幼稚園との連携に基づいた保育実践演習を実施。本授業において学んだ幼児理解・保育者の役割・保育内容と方法（言葉の領域）・指導計画作成・保育展開等に関する事項を大学に各幼稚園の園児を招待し保育を実践する。学びを共有し、保育者を目指す熱意と自信につながるよう理論・演習・実践の統合を目指す。
4. 保育観察・保育実践に基づいた実践演習・実践研究「教育演習・卒業研究」	28年4月～現在	「教育演習」及び「卒業研究」では、市立幼稚園・附属幼稚園と連携を図り、保育観察及び保育実践に基づいた演習・実践研究を展開。観察記録、記録に基づく討議、資料作成、観察した実践につながる保育構想、保育実践（言葉の領域）、実践に基づいた学びを重視している。
5. 附属保育園・市立幼稚園と連携を図り、実践演習	28年4月～現在	短期大学部「保育・教職実践演習」において、附属幼稚園・市立幼稚園との連携に基づいた保育実践演習を実施。本授業において学んだ幼児理解・保育者の役割・保育内容と方法（言葉・環境・表現）・指導計画作成・保育展開等に関する事項を幼稚園に出向き実践し、理論・演習・実践の統合を目指す
6. 保育所保育指針・幼稚園教育要領に基づき保育指導を学ぶ	28年4月～現在	保育園・幼稚園・認定こども園などの教育過程について、各施設の特徴や保育理念やめざす子ども像について、保育所保育指針や幼稚園教育要領を元に、実践のレポートから、保育のねらいや内容に沿って、教師の援助が教育過程、保育案とどう結び付いているのか話し合い理解を深める。

2 作成した教科書、教材		
1. 小川圭子編著『保育者論—子どものかたわらに』（シリーズ 知のゆりかご）JSBN:978-4-86015-412-7	29年09月20日	『保育者論—子どものかたわらに 【シリーズ知のゆりかご】小川圭子編 第10章「失敗」から学んでいく 第1節ベテランと新人の違い—事例から考える 第2節保育カンファレンスについて p152-160 柏まり 川村高弘 栗岡あけみ 鎮 朋子 大和 晴彦 久米 裕紀子など
2. 保育・教育カリキュラム論（仮）	2021年8月刊行予定	新人保育者に向けての『保育者論』の教科書 第10章「失敗」から学んでいく 第1節ベテランと新人の違い—事例から考える 第2節保育カンファレンスについて p164-170

3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 伊丹市立みずほ幼稚園 研究会講師	30年4月31年3月	幼稚園の研究会において、講師として、指導助言を行う。
2. 親和女子大学 非常勤講師	30年4月32年3月	神戸親和女子大学通信教育部の非常勤講師として、保育内容の研究・言葉の指導を行う。
3. 加西市立園長会 講師	30年12月	加西市立幼稚園・こども園・保育園の園長・福園長の研修にて、講演。
4. 篠山市幼稚園・こども園教育会、全体研修会講師	29年7月	篠山市幼稚園・こども園教育会、全体研修会講師

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
5. 進路ガイダンス講師	29年7月	県立有馬高等学校2年生の生徒を対象に模擬授業を2回実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。折り紙などの実践的な遊びを取り入れ幼児教育への興味関心をもてる授業を展開した
6. 高大連携授業	29年6月	高大連携の一環として、武庫川女子大学附属高校3年生ELコース45名の生徒を対象に2回にわたって授業を実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。ハンカチや折り紙などの実践的な遊びを取り入れたり、グループワークで討議を通したり、学びを深める授業を展開した。
7. 篠山市幼稚園教育会全体研修会の講師	29年5月	篠山市幼稚園教育会全体研修会の講師。「表現活動としての幼児教育～普段の指導の中から どう発表会（劇遊び）につなげるか～」について講話。
8. 教職実践演習のゲスト講師	29年2月	親和女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
9. 教職実践演習のゲスト講師	28年9月	親和女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
10. 進路ガイダンス講師	28年9月	北千里高等学校2年生の生徒を対象に模擬授業を2回実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。折り紙などの実践的な遊びを取り入れ幼児教育への興味関心をもてる授業を展開した。
11. 進路ガイダンス講師	28年6月	姫路市立琴丘高等学校2年生の生徒を対象に模擬授業を2回実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。折り紙などの実践的な遊びを取り入れ幼児教育への興味関心をもてる授業を展開した。
12. 教職実践演習のゲスト講師	28年2月	親和女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「模擬保育に対する総評・指導案の立て方」・「幼稚園における危機管理」パワーポイントによる講話。アクティブラーニング型授業。
13. 教職実践演習のゲスト講師	27年8月	親和女子大学の教職実践演習「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
14. 教職実践演習のゲスト講師	27年2月	親和女子大学の教職実践演習「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
15. 親和女子大学の教職実践演習「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。	27年10月	武庫川女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「幼稚園の遊び・生活について」パワーポイントによる講話。
16. 教職実践演習のゲスト講師	26年8月	親和女子大学の教職実践演習「季節に応じた制作活動」実技と講話。
17. 教職実践演習のゲスト講師	26年2月	親和女子大学の教職実践演習「模擬保育に対する総評・指導案の立て方」アクティブラーニング型授業をした。
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 幼稚園教諭二級免許状	5 7 年 3 月	
2. 保育資格	5 7 年 3 月	
3. 幼稚園教諭一種免許状	1 8 年 7 月	
4. 修士学位	2019年 3 月 31 日	武庫川女子大学大学院文学研究科 教育学専攻
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. ミュージカル部顧問	2019年04月01日現在至	
4 その他		
1. 芦屋市より勤続15周年表彰	9 年 11 月	
2. 芦屋市より勤続34周年表彰	28年 3 月	
3. 関西幼稚園連合会より幼稚園勤続30年表彰	24年11月	
4. 芦屋市より勤続25周年表彰	18年11月	
5. 関西幼稚園連合会より幼稚園勤続20年表彰	13年11月	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 「思いやり、認めあう関係を」	共	21年12月	ジャパンマシニスト社 (144頁) 「ちいさい おおきい よわい つ よい」	保育者が日常の保育の中で感じたこと、伝えたいことをまとめ記した。お互いに育ち合う信頼関係を築いていく大切さを「保育の視点」「教師の援助」「家庭との連携」「保育者としての感性」「事実と向き合う」「誠実に対応すること」などの学びを記した。(pp: 60~63執筆) 著者: 山田 真編、山田真、毛利子来、久米裕紀子
2. 『教育・保育カリキュラム論』	共	2021年8月 予定	株式会社 みらい	大学・短大の保育養成課程における「保育、教育課程論」などに対応したテキスト。全体を通して「子どもの姿」「保育者の姿」をイメージできることを目指し。指導計画を自分で考えて作成できるようになるための内容。第4章 記録と省察11ページを担当。
3. 『シリーズ知のゆりかご 保育者論』小川圭子編著	共	2017年8月 刊行予定	株式会社 みらい	新人保育者に向けての『保育者論』の教科書 第10章「失敗」から学んでいく 第1節ベテランと新人の違い―事例から考える 第2節保育カンファレンスについて p 164-170
2 学位論文				
3 学術論文				
1. 幼児教育の専門性を育む― online授業の中で学生とのつながりを考える ― (査読付き)	共	2021年3月 予定	『学校教育センター紀要』第6号	令和2年度の前期の授業は、onlineでスタートした。このことを受け、昨年度の「幼児教育の専門性を育む」ための授業を今年度はどのように展開していくのか、online授業を進めていくために、どのような工夫が必要かということを受業担当教員で話し合った。online授業であっても、できるだけ対面授業に近いかたちで学生と向き合う授業を展開した実践報告である。
2. 一人一人を育てる保育研究の在り方―芦屋市立精道幼稚園のあゆみから― (査読付き)	単	2021年3月 予定	『学校教育センター紀要』第6号	本研究は、芦屋市立幼稚園の「保育研究」についての取り組みを沿革史や研究紀要などからその変遷を辿り、一人一人を育てていく保育について考察した。創立明治44年～昭和36年(1911～1961)までの80年間を中心にした研究報告。
3. 一人一人を育てる保育の研究―芦屋市立精道幼稚園のあゆみ― (査読付き)	単	2021年3月 予定	『教育学研究論集』第16号	本研究は、芦屋市立幼稚園の「保育研究」についての取り組みを沿革史や研究紀要などからその変遷を辿り、一人一人を育てていく保育について考察した。明治昭和36年～平成までを中心にした研究報告。
4. 幼児教育の専門性を育む (査読付き)	共	2020年3月31日	武庫川女子大学 学校教育センター紀要 第5号 2020年	幼児を理解することが保育の出発点となり、そこから一人一人の幼児の発達を着実に促す保育が生み出されてくる。この研究の主旨は、学生を対象にした授業の効果検証である。
5. 「遊びこむ」姿を捉える保育者の視点 (査読付き)	単	2020年03月01日	教育学研究論集第15号 (原著論文)	「遊びこむ」という幼稚園現場で使われていく慣用語を専門用語として捉え、幼稚園教諭へのインタビュー調査から現場で活かしている専門用語としての働きを捉える。
6. 教育実践演習におけるフィールドワークの展望を探る―学生の意識調査から考察する― (査読付き)	共	2020年02月29日	親和女子大学 児童教育研究 第39号	教職実践演習におけるフィールドワークについて、その意義、実践を通しての学生の学び、取り組みの考察、成果と課題をまとめた。
7. 保育・教職実践演習の授業改善の試み「にこにこタイム」の実践を通して― (査読付き)	共	2019年3月	武庫川女子大学 学校教育センター年報H30	実践2年目となる平成29年度の「にこにこタイム」の実施に伴い、授業の初回から情報を共有できるように授業計画を見直し、実施直後のアンケートを通して、主体的に考えて、学生自ら、動ける課題であったかについて検討し、2年目の授業実践を振り返る。
8. 幼児教育における慣用語の研究	単	2019年3月	教育学研究論集第14号	幼児教育で日常的によく使われる言葉「遊びこむ」や「言葉がけ」は、幼稚園や保育園の現場で生きて働いている言葉である。これらの幼児教育から生まれた「遊びこむ」「言葉がけ」という言葉について、それらが生まれ用いられる経緯や背景を探り、これらが幼児教育の世界で、幼児とかかわる大人が幼児について用いる独特の「言葉」(「慣用語」)として、どう浸透し、広がってきたのかについて検討し、それを通して幼児教育の専門性について考える。
9. 「子ども理解を探る保育・教職実践演習―「にこにこタイム」の実践を通して― (査読付き)」	共	2018年3月	武庫川女子大学 学校教育センター年報H29	保育・教職実践演習の授業では、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待される。教員像や到達目標等に照らして最終的に確認することができるよう、附属幼稚園の子どもたちを招いて保育を行う「にこにこタイム」を実施した。学生が主体的に連携する姿勢を導き、保育者としての自覚、意欲を育成することを目指した。自立し連携する教員の育成は、主体的に計画し、実行して取り組みにおいてこそ達成可能である。
その他				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 第 回 日本保育学会 研究発表 予定	単	2021年 5月	幼児の「遊びこむ姿」 をとらえる 安田式運動遊びから一 考察	幼児が夢中になって遊ぶ姿「遊びこむ姿」を安田 祐治氏の理論をもとに考察していく。
2. 第 回 日本保育学会 ポスター 発表 予定	共	2021年5月予 定	幼児の共感的相互作用 を高める身体表現遊び の指導法	保育の現場での身体表現遊びの際の保育者の「気づ き」「対応」を記録し、保育者の幼児理解、保育指 導方の向上に役立てていくための研究。
3. 「遊びこむ」姿を捉える保育者の 視点	単	2020年 5月1 日	第74回 日本保育学会	研究発表「遊びこむ姿」について、保育現場でのイン タビューを通し、幼児教育の中で生きてきた専門 用語「遊びこむ」の言葉を立証していく。また、保 育者が子どもの「遊びこむ」姿をどのように捉え、 見極めているのかなど、保育者の「遊びこむ」姿を捉 える視点や子どもへの援助についての考察を発表す る。
4. 研究発表「遊びの中で幼児が本気 になる瞬間を捉えて」		2018年12月9 日	第28回日本乳幼児保育 学会 研究発表	保育者の援助としての言葉がけやまなざしについて 、日々の保育の実践を省察し、分析した。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 研究紀要「豊かに感じ生き生きと 生活する幼児をめざして」	共	24年2月	芦屋市教育委員会、芦 屋市立幼稚園研究会 (54頁)	芦屋市教育委員会指定幼稚園教育研究会を受け、「 豊かに感じ生き生きと生活する幼児をめざして」を 研究テーマに取り組んだ。協同する喜びを感じ、育 ち合う仲間づくりについて、幼児が幼稚園の遊びの 中で、発見したり、考えたりしながら、自己発揮し 、友達とつながっていく保育内容や、環境構成など 実践を通し、考察、課題を積み重ねた保育者の学び を紀要として作成してまとめた。(pp:1~6、 pp: 39~40執筆) 著者：村上洋子、田附俊一、久米裕紀 子など
2. 「道徳性の芽生えを培う指導の在 り方」—幼児の規範意識を高める ために—	共	20年 3月	文部科学省委託 幼児 教育改善・充実調査研 究	文部科学省委託を受け、「道徳性の芽生えを培う 指導の在り方」—幼児の規範意識を高めるために— というテーマで研究を進めた。「よいことや悪いこ とを判断する力の育成」という視点で取り組んだ。 幼稚園教育の中で道徳性の芽生えを培っていくこと の大切さや日常の中で幼児が感じていること、気付 いたことを道徳性の芽生えにつなげていく保育を展 開し、何が育ったのかということを実践の中で検証 し考察していった。(pp:20~23、 pp:24~27執筆) 著者：柴ひろ、高橋弘美、登正子、久米裕紀子
3. 理数教育における『知』の連続性 に基づく幼・小一貫「カリキュラ ム」の開発 基盤研究	共	20年3月	文部科学省委託事業	甲南女子大学・人間科学部教授 船越俊介氏の依頼 により、幼稚園現場における「数量と形及び考える 力」の育成に関わる実情・実践と保育者の基本的な 考えを資料発表した。幼稚園教育要領の「環境」の ねらい(3)に、身近な事象を見たり、考えたり、 扱ったりする中で、物の性質や数量文字などに対す る感覚を豊かにすると記されている。幼稚園の生活 や遊びの中で、そのことを取り入れている保育実践 をまとめた。(pp:73~81執筆) 著者：船越俊介、上埜吉美、本多玲子、久米裕紀子
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2020年 5月	第 回 日本保育学会 研究発表
2. 2018年12月9日	第28回日本乳幼児教育学会 研究発表